

令和7年度診療科別目標発表



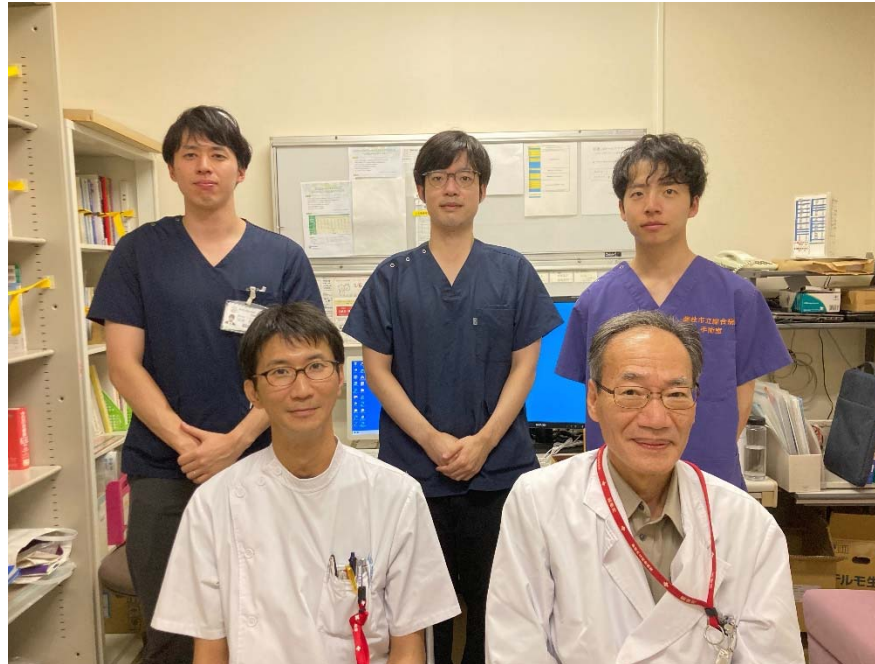
藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital



腎臓内科

医師の紹介

腎臓内科



No.	氏名	役職等
1	内藤 善隆	科長
2	中上 大輔	医長
3	北本 周平	医員
4	後藤 優也	医員
5	山本 龍夫	診療部参与/嘱託医師

診療実績等

腎臓内科

主な診療実績	R 4	R 5	R 6
外来患者数	47.6人／日	48.9人／日	50.1人／日
入院患者数	13.0人／日	12.1人／日	12.9人／日
新入院患者数	26.3人／月	26.3人／月	22.1人／月

D P C 病名別症例数	R 4	R 5	R 6
慢性腎不全・末期腎不全 透析関連	163人／年	140人／年	122人／年
慢性糸球体腎炎・ネフローゼ	15人／年	18人／年	14人／年
急性腎不全	12人／年	9人／年	5人／年
高血圧・うっ血性心不全	12人／年	14人／年	23人／年
ホルモン・電解質異常	10人／年	20人／年	10人／年

CKD指導の取り組み

- 腎臓内科の医師だけでなく、透析室の看護師や、臨床栄養士とも協力して、腎臓病指導や生活指導、栄養指導、腎代替療法選択をおこない、患者や家族の理解を深めている。
- 腎機能障害の進行抑制や、透析導入時期の延長、スムーズな腎代替療法への移行を目標としている。

主な診療実績	R4	R5	R6
CKD指導	99人/年	102人/年	110人／年

中期目標・令和9年度に目指す姿

腎臓内科



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

令和9年度

新規透析導入患者、末期腎不全による死亡者の減少

- ・ CKDの発症予防、早期発見、重症化予防に取り組む。
- ・ CKD指導、栄養指導、腎代替療法の選択など患者教育を充実させる。
- ・ かかりつけ医と連携して、適切な医療を提供する。
- ・ エビデンスに基づき腎疾患の標準的な管理を確実にこなう。
- ・ 藤枝市に安定して腎臓内科が存続する環境を作る。

短期目標・令和7～8年度の目標

腎臓内科

No.	項目	目標
1	エビデンスに基づく腎疾患の管理	<ul style="list-style-type: none">• 個々の患者さんの状況を考慮しながら、エビデンスに基づき腎疾患の管理を行う。• 特に症例数の多いCKDはかかりつけ医、多職種と連携しながら、できるだけ重症化を予防する。• IgA腎症を始めとする腎炎に対しては、積極的に生検、治療介入を行う。• 適切な透析管理を行う。
2	藤枝市に安定して腎疾患の治療を提供できる環境づくり	<ul style="list-style-type: none">• 労働環境や労働時間を意識して改善する。• かかりつけ医、他科と適切に連携する。

決 意

藤枝市で安定して腎疾患の治療が行える環境を作り、地域の患者さんの利益に貢献する。